

# 第二次 養父市 環境基本計画



## 人と環境の調和を みんなで次世代へ繋ぐまち 養父

概要版

養父市には、北近畿で最高峰となる氷ノ山があり、これに連なる山々の森林は市総面積の約8割を占めています。多様な生態系を維持し、私たちの暮らしを支えるこれらの自然環境は、市民の貴重な財産であり、さまざまな歴史や文化とともに先人たちの手によって大切に守られ、私たちに引き継がれてきました。

しかしながら、近年では異常気象や有害野生鳥獣が引き起こす自然的要因、人々の暮らしぶりや事業活動による人的要因により、安全に安心して暮らせる生活が脅かされる状況も散見されるようになってきました。また、温室効果ガスの増加や、地球温暖化に端を発する気候変動が世界規模の課題として認識され、一人ひとりにこの「地球」を守っていくための対応が求められるようになってきました。

豊かな自然環境を守り、次代に継承していくためには、生活や社会活動による自然環境への影響を再認識し、「持続可能な社会」を実現させるための努力が必要です。

このような背景を踏まえ、国連で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」の理念を体現し、総合的に環境政策を推進するために、今般、第二次養父市環境基本計画を策定しました。

### 環境スローガン：人と環境の調和を みんなで次世代へ繋ぐまち 養父

#### 取組方針 1

養父市を取り巻く地球規模の環境課題に取り組む

- 低炭素社会の推進
- 資源循環社会の推進
- 自然共生社会の推進



#### 取組方針 2

養父市が抱える身近な環境問題を解決する

- 生物多様性の保護保全
- 森林の管理と育成
- 農地の維持
- 鳥獣被害への対策
- 空き家の有効利用
- 公害への対策



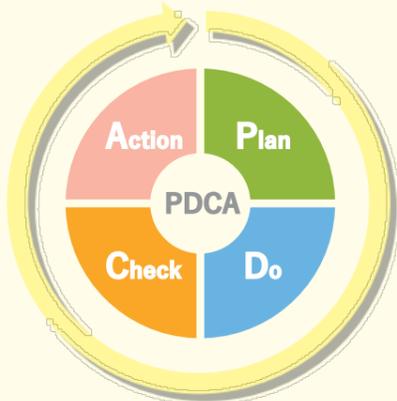
#### 取組方針 3

ひとりひとりが環境に対する意識や理解を深める

- 環境学習の推進
- 環境情報の提供
- 環境保全活動の推進



### 計画の進め方 ～ PDCA サイクル～



- Plan: 計画**  
計画の理念（環境スローガン）を実現するための3つの取組方針を設定します。計画の策定や見直しについては、市民・事業者の意見を取り入れ、調整します。
- Do: 実行**  
計画に基づいて、市民・事業者・行政が具体的な取組を行います。取り組む際には、各主体が地域ぐるみの連携・協働を行います。
- Check: 評価**  
計画理念（環境スローガン）の実現に向かっていくかを方針ごとに、評価します。特に取組方針2における成果指標については、スケジュールや目標に基づいた進捗管理を行います。
- Action: 見直し**  
評価に基づき、施策の実施方法などを見直し、必要に応じ、新たな取組を検討します。

これらの一連の流れを周回させていき、計画の進行を円滑に進めていきます。

## SDGs(持続可能な開発目標)とは

持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(Leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。(外務省HPより)

このことを踏まえて、養父市民として、日本国民として、世界の一員として、環境問題に真摯に向き合い、取り組む必要があります。

